

会 議 録

会議の名称	第1回 鴻巣市立小・中学校統合準備委員会	
開催日	令和6年5月13日(月)	
開催時間	開会 18時30分	閉会 20時30分
開催場所	吹上生涯学習センター 研修室	
議長(委員長・会長)氏名	会 長 清水 励	
出席者(委員)氏名(出席者数)	清水励(会長) 棚澤大輔(副会長) 福山功、吉野徳子、木村真輔、江藤大輔 須田佑季子、大野里恵、小林久恵、矢部奈美、中野志穂 高山美奈子、小川美加、小林洋一、兼杉享介、原口登 坂本日出男、友永幸子、新井直子、石田恵子 (20名)	
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	庄田薫 (1名)	
事務局職員職氏名	教育総務課長 教育総務課主査 教育総務課主任	松 本 直 樹 新 井 洋 平 堀 智 紀
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 鴻巣市立小・中学校統合準備委員会の役員について (2) 検討事項(案)、スケジュール(案)及び歳入歳出予算(案)について (3) 閉校式典について (4) 閉校記念誌について (5) スクールバス乗降場所及び通学路について (6) 学校跡地の利活用について 4 そ の 他 5 閉 会	
配布資料	資料1 委員名簿 資料2 統合準備委員会での検討事項(案) 資料3 統合準備委員会スケジュール(案) 資料4 歳入歳出予算書(案) 資料5 閉校式典タイムスケジュール(案) 資料6 閉校記念誌構成及び配布対象者(案) 資料7 スクールバス乗降場所及び通学路(案)	

(決定事項)

- ・会長に清水委員、副会長に棚澤委員、会計に福山委員、監事に木村委員を選出し、承認。
- ・閉校式典の日程は、小谷小学校教職員と保護者を中心に検討する。
- ・閉校式典の内容は、これまでの笠原小学校、常光小学校と違った内容についても検討することとする。
- ・閉校記念誌は、全世帯に配布できるよう必要部数を印刷する。主体として関わる方については、小谷小学校の教職員と保護者を中心に検討する。
- ・スクールバスの乗降場所、通学路は、現行案で進めることとする。
- ・次回の統合準備委員会は8月頃に開催予定。具体的な日程は、各事業の打合せの進捗状況を判断して改めて連絡する。

(主な意見)**議題(2)**

- ・資料4歳入歳出予算書(案)、委託料の備考にブルーリリースと記載されているが、これは決定事項なのか。
⇒笠原、常光小学校の閉校式の際に実施した内容を例として挙げている。内容については、統合準備委員会で検討して決定する。

- ・小谷小学校の設置者は鴻巣市だと思われるが、統合準備委員会も市が主体となって進めるのか。
⇒学校の設置者は鴻巣市。しかし、統合準備委員会においては、保護者、地域の方、教職員からの意見・提案等を中心に進めていく。

議題(3)

- ・閉校式典の日程として、3月29日(土)が提案されているが、年度末で教職員は忙しいのではないかと。また、スポーツ少年団等の大会の開催や家族旅行等を計画される方も多いのではないかと。
6年生保護者の意向をよく確認してもらいたい。

- ・3月24日(月)の終業式及び3月26日(水)の卒業式が終わった後に閉校式典を開催するのが流れとしては自然だと思われる。
年度末は忙しいが、3学期を通して繁忙期であることから、3月29日(土)の開催でも問題ない。

- ・地域の方は、平日と休日、どちらにしてほしいという要望はあるのか。
⇒平日開催にしても、休日開催にしても参加できる人はできるし、できない人はできない。在校生保護者が参加しやすい日で調整するのが良いのではないかと。

議題(4)

- ・閉校記念誌作成の有無について。
⇒閉校記念誌は作成したほうが良いのではないかと。
- ・小谷小学校100周年記念誌を参考にして、重複しないように作成するのが良いのではないかと。

・笠原小学校や常光小学校の際は、PTA 広報部が主体となって、閉校記念誌を作成している。

・閉校記念誌の作成主体は小谷小学校内で検討する。

・閉校記念誌の配布対象者はどうするか。

⇒公共機関に置くなど、自治体に加入していない世帯にも配布できるようにしてもらいたい。

議題（5）

・赤見台第二小学校の通学路について、安全面を考えると、「箕田追分」の交差点を利用するほうが良い。信号のない横断歩道を利用するのであれば、保護者の見守りが必須ではないか。

・安全、安心を第一に考えてもらいたい。箕田小学校の通学路においても、横断歩道だけではなく、手押し信号をつけてもらいたい。

また、できるかぎり最短距離で通学路は設定してもらいたい。

・スクールバス対象者でない小谷学童の利用者について、下校時のみスクールバスを利用させてもらえるのか。

⇒常光地域では、常光放課後児童クラブを利用している児童のスクールバス利用を認めている。

しかし、常光放課後児童は鴻巣市の直営となっている一方で、小谷学童は民設民営となっている。経営形態が異なるので、一概に同じ対応ができるわけではない。基本的には経営者側で送迎用のバスを手配してもらいたい。

・吹上小学校から2 km 以内の弾力的なスクールバスの運行がされる地域については、通学方法を選択することができるとなっているが、周りの保護者がどちらを選択しているのか分からないため不安。

蓋を開けたときに、一人で歩いて通学となる児童もいるのではないか。

⇒対象者がどちらを選択しているかは、教育委員会として把握している。徒歩の人数が少ない場合などは、個別に連絡等をさせていただく。

議題（6）

・小谷小学校の跡地活用におけるアンケートの集計結果を公開してほしい。

・小谷地域は公共施設がない。公民館として整備し、市の職員が常駐してほしい。

・民間の事業所に貸し付けるのではなく、行政施設として整備してほしい。鴻巣市は子ども真ん中宣言をうたっているのであれば、それに沿った政策を行ってほしい。

・学校は子どもたちに開放してほしい。

・会議室等で利用するのではなく、子どもたちが使用するための施設として活用してほしい。

・障がいがある子どもたちが使用できる遊具を整備してほしい。

・野球やゲートボールのような団体に対する学校開放だけではなく、子どもたちが遊べるような公園にしてほしい。

・くまびあのような宿泊施設として整備してほしい。